

## 連係入力講習会の持ち物と事前準備のお願い

### 【当日の持ち物】

#### ・パソコンと AC アダプタ

入力しやすいキーボードのパソコンをお勧めします。タブレットなどは、外付けのキーボードが必要です。

「IPtalk Partner」は多量のチェックやボタンがあります。マウスを持参することをお勧めします。

#### ・イヤホン、または、ヘッドホン（Softalk の合成音声を聞くため）

#### ・テーブルタップ(電源タップ)

★「IPtalk Partner」をコピーするためにパソコンに CD ドライブが必要です。

CD ドライブが無い場合は事前にメールしてください。(USB メモリーからコピーします。)

### 【事前準備】

このマニュアルに従って、以下をお願いします。

①持参していただくパソコンに Softalk を事前にインストールしてイヤホンなどで合成音声を聞くことができることを確認してください。

②「練習リモコン」を使って、入力速度を計測して、結果をメールで送ってください。

講習会で使う練習問題の入力速度の参考にします。

### 【お願い】

・万が一、Softalk が練習文を読み上げない場合は、事前にメールしてください。

講習会当日に音声が再生できないと分かって、不具合対応の時間は取れません。

必ず動作確認して来てください。


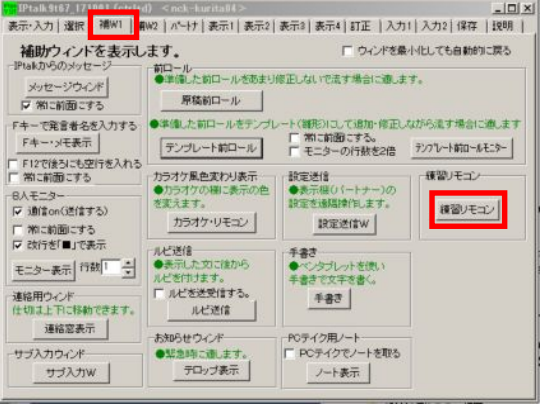
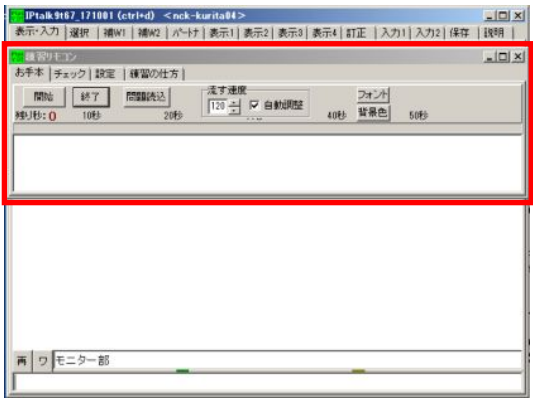
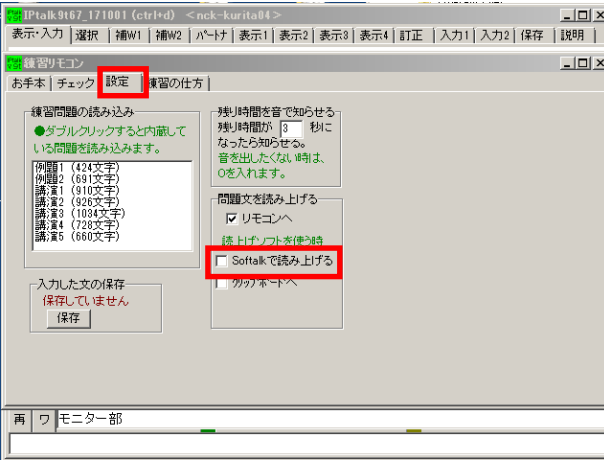
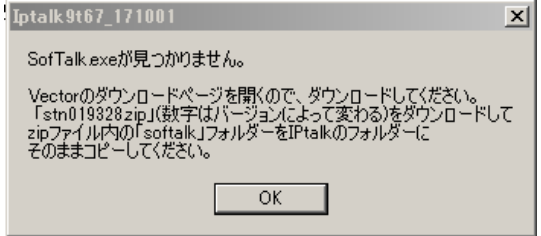
よろしくお願いします。

# 1)「SofTalk」を使う準備

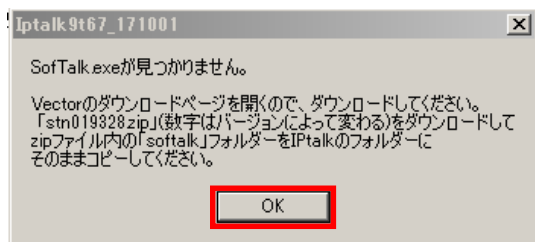
Sotalk は、ファイルをコピーするだけで使えます。

## 【注意】

・Windows7 では、「Microsoft .NET Framework4.0」を入れる必要がある場合があります。

No	操作	反応
1	<p>①IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>②「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p>	<p>②ページが増えます。</p> 
2	<p>①「補 W1」ページの「練習リモコン」ボタンを押します。</p> 	<p>①「練習リモコン」が開きます。</p> 
3	<p>①「練習リモコン」の「設定」ページを開きます。</p> <p>②「問題文を読み上げる」枠の「SofTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p> 	<p>①初めてチェックを入れた時は、SofTalk が無いので、以下のようなメッセージが表示されます。</p> 

②「OK」ボタンを押します。



③ベクターの HP の「ダウンロード」タグをクリックします。



④下の方の「ダウンロードページへ」をクリックします。



⑤「今すぐダウンロード」ボタンを押します。



②IE が起動して、「Vector」の「SofTalk」のダウンロードページが開きます。



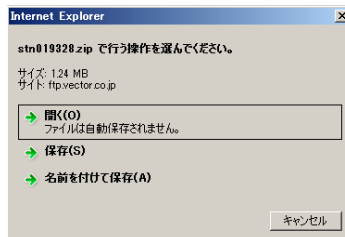
③「ダウンロード」タグが開きます。



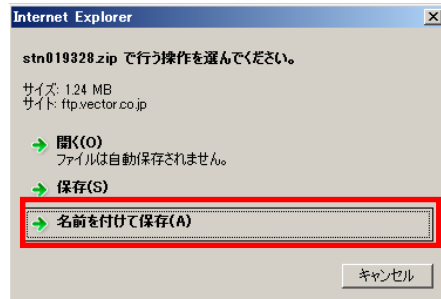
④「ダウンロード」ページが開きます。



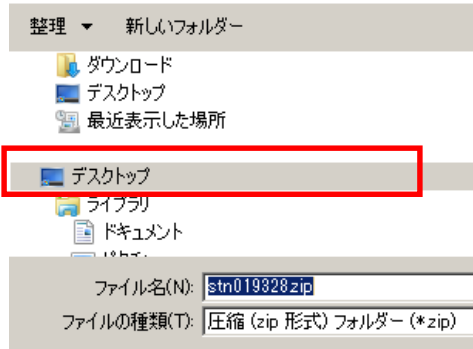
⑤「操作を選んでください」というウィンドウが開きます。



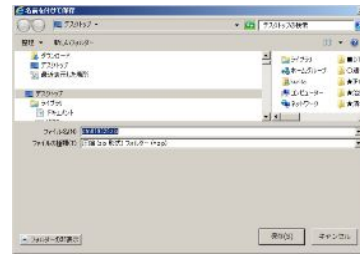
⑤「名前をつけて保存」を押します。



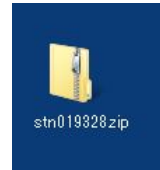
⑥「デスクトップ」を選んで、「保存」ボタンを押します。



⑤「名前を付けて保存」ウィンドウが現れます。



⑥デスクトップに「stn019328.zip」というアイコンが現れます。

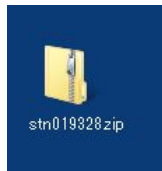


数字はバージョンによって変わります。

4 SofTalk を IPtalk のフォルダーにコピーします。

①デスクトップの「stn019328.zip」のフォルダーをダブルクリックして開きます。

(数字はバージョンによって変わります。)

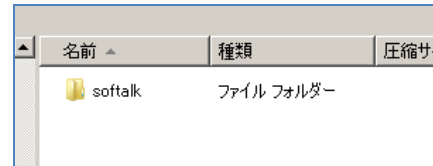


②「sofTalk」のフォルダーをコピーして、IPtalk のフォルダーに貼り付けます。

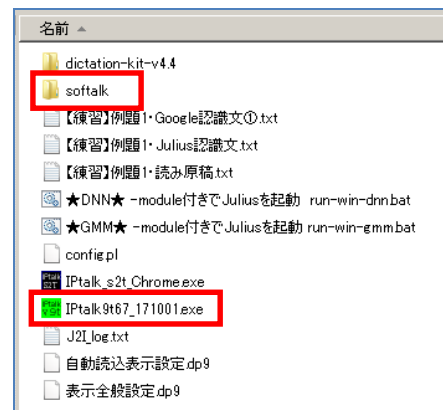
#### 【注意】

コピーするのは、zip ファイルでなく、その中にはいる「sofTalk」ファイルであることに注意してください。

①中に「sofTalk」というフォルダーが入っています。



②IPtalk のフォルダーの中に「sofTalk」のフォルダーができます。



5 これで準備完了です。

おわり

## 2) 練習リモコンで「SoftTalk」を使って入力速度を計測する


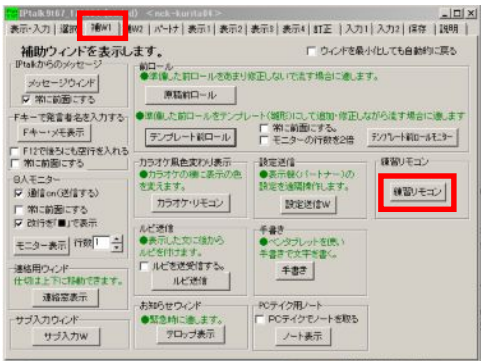
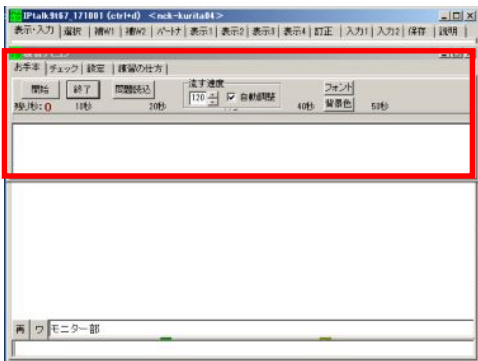
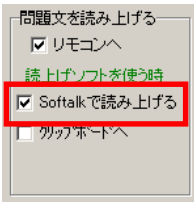

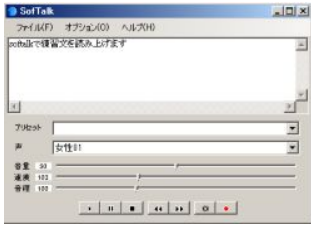
練習リモコンで、「Softtalk」で問題文を読み上げて、入力速度を計測します。

逐語分で入力し、単語登録は使わず、全文キーボード入力します。例えば「パソコン要約筆記」は、「ばそこんようやくひっき」と入力して変換してください。

ミスタッチしない確実な入力ができる「余裕のある速度」で入力してください。

### 【注意】

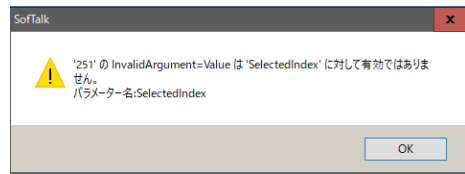
「SoftTalk」のフォルダーが、起動する IPtalk のフォルダーに入っている必要があります。

No	操作	反応
1	<p>① IPtalk を起動します。 (起動時設定を読み込んで起動した場合は、「保存」ページの「初期値に戻す」ボタンを押してください。)</p> <p>② 「選択」ページの「用途による機能の表示選択」で「上級者用」のラジオボタンを入れます。</p>	<p>② ページが増えます。</p> 
2	<p>① 「補 W1」ページの「練習リモコン」ボタンを押します。</p> 	<p>① 「練習リモコン」が開きます。</p> 
3	<p>① 「練習リモコン」の「設定」ページを開きます。</p> <p>② 「問題文を読み上げる」枠の「SoftTalk で読み上げる」チェックを入れます。</p>  <p>③ 「許可」のボタンを押します。</p> <p><b>【注意】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークに接続している時は、最初は、インターネットへのアクセスを許可しないと起動しないようです。</li> <li>2度目からは、インターネットに接続していなくても使えます。</li> </ul>	<p>② 「このアプリケーションはインターネットに接続しようとしています。」と出ます。</p>  <p>③ 「SoftTalk」が起動して「SoftTalk で練習文を読み上げます」と音声が出ます。</p> 

・ネットワークに接続せずに、最初に起動した場合は、特に何も聞いて来なくて起動します。  
次にネットワークに接続しても特に聞いて来ないので、結局は、ネットワークへのアクセスはしていないように思います。

**【ヒント】**

この時、エラーのウィンドウが出ることがありますが、「OK」ボタンを押すと、正常に読み上げます。



4 ①流す速度を、自分が確実に入力できる速度に設定します。

②「自動調整」チェックを入れます。

**【ヒント】**

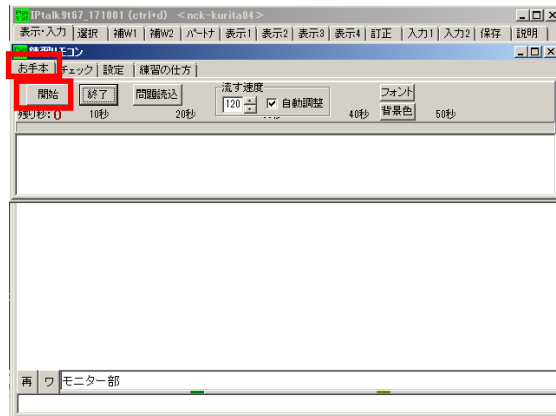
「自動調整」チェックを入れておくと、入力に余裕がある時は速度を速くし、間に合わない時は速度を遅くします。

①



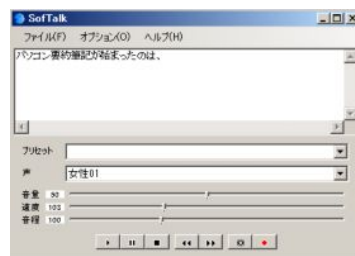
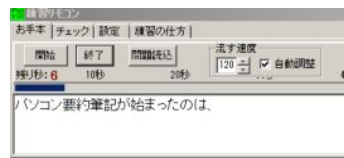
5 計測します。

①「練習リモコン」の「お手本」ページを開きます。「開始」ボタンを押します。

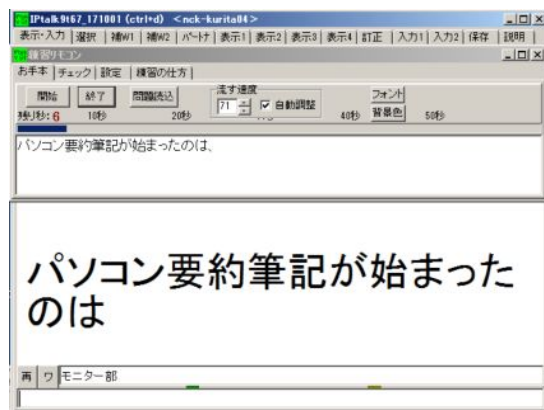


①カーソルが自動的に入力部に移動します。

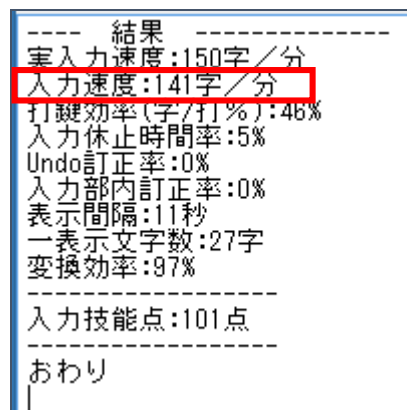
「パソコン要約筆記が始まったのは・・・」と出て、SoFTalk が読み上げます。



②正確に入力します。

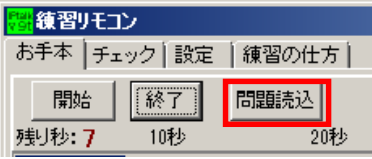
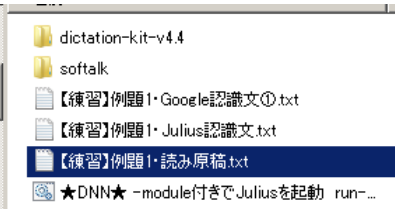
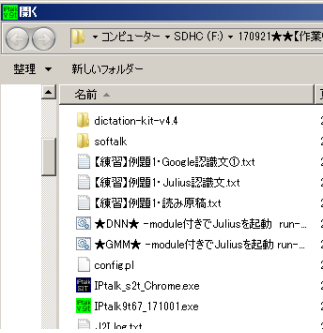


②終わると結果がでます。



★結果を「ワープロ画面」でコピーして、講習会当日までにメールしてください。

(講習会当日の練習問題の参考にします。)

6	<p>①結果の「入力速度」の数値から、問題文を流す速度を計算します。</p> <p>・練習問題の速度 = 入力速度 × 2 × 0.8</p> <p>講習会では、この「練習問題の速度」で Softalk が読み上げる問題文を連係入力します。</p>	<p>【ヒント】</p> <p>計算した「練習問題の速度」が 280 を超える場合は、Softalk の「速さ」の調整必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・280 文字/分以下→「速さ」100</li> <li>・350 文字/分まで→「速さ」130</li> <li>・400 文字/分まで→「速さ」160</li> </ul>
7	<p>【ヒント】</p> <p>メモ帳で作った練習問題を読み込むことができます。</p> <p>①「お手本」ページの「問題読み込み」ボタンを押します。</p>  <p>②同梱されている「【練習】例題 1・読み原稿.txt」指定してください。</p>  <p>③「開始」ボタンを押すと、練習問題がスタートします。</p>	<p>①「開く」ウィンドウが現れるので、読み込むファイルを指定します。</p> <p>メモ帳で作ったテキストファイルを読むことができます。</p> 
8	おわり	